

「731部隊」は米国のデッチ上げ

しゃんと立った日本に中国朝鮮が狼狽え、喚き、果ては朴槿恵も習近平もオバマのところまでいって讒訴した。

その妙な構図についてフォーリン・アフェアーズ誌のジョナサン・テパーマンが論じていた。

安倍首相とも会見したことがあるテパーマンは例の首相が搭乗した自衛隊機の機体番号731から書き起こす。

「日本は（アジア諸国を蚕食する）欧州の帝国主義勢力に対抗し、朝鮮と中国北部を残忍に搾取して己の足場を固めた」

アジアを残忍に食った中に米国もいるが、それを書かない姑息さはここでは措く。

このときの日本の残忍さの象徴が「731部隊」で「70年経った今も日本のちよつとした動き、例えば自衛隊を国防軍にするとかに近隣諸国はこの残忍さの悪夢が甦る」から大騒ぎ

になるのだという。

だから「ブランド独首相がワルシヤワのユダヤ人ゲットーの記念碑に跪ひざまずいて謝罪したように、安倍はアジア諸国にもう一度真摯に謝罪するがいい」と結ぶ。

彼は「731が防疫部隊とは真つ赤な嘘。生物化学兵器をつくり、残忍な生体実験をやった」という噂をもとに記事を書いている。

しかし半世紀たった今でもその噂を証明する証拠や証言は出てきていない。

代わりに「人道国家米国には入手不能な人体実験データだったので石井部隊の実験責任者の罪を不問に付してそのデータをもらった」という噂を流してきた。

だから証拠が出ないのは当たり前と米史家シエルダン・ハリスらは言う。

それでも真実は漏れる。「これが731部隊での人体実験の写真」が実際、中国朝鮮に出回った。横たわる女性の乳房は削がれ、腹は裁ち割られ、陰部に棒が突きたてられている。

そして彼女を囲むように立つ白衣の医師たち。

しかしこれは昭和3年の済南事件のものである。中国兵が日本人居留区を襲って12人を惨殺した。その検屍解剖写真はあまりに残酷すぎて日本では公開されなかった。それをいいことに北京政府が「日本人は残忍」の証拠に仕立ててばらまいていたのだ。

731は人間を真空室に入れて破裂させる実験もやった。「目や口から内臓が飛び出し破

裂した」と米国から漏れてきた話がある。

70年代、ソ連のソユーズ11号で真空化事故があつたが、人体は破裂も脱肛もしなかつた。731の噂はここでも否定された。

同じころ、米国が大戦前後にグアテマラで梅毒菌を知恵遅れの少女の目や脳に注入する残忍な人体実験をやつて計83人を殺したことがばれた。オバマがやつと謝罪した。

「米国は人体実験などできない」から731のデータがほしかつた、だから証拠も隠したという噂の根拠もこれで吹っ飛んだ。

これだけポロを出しながら日本軍残虐の象徴「731部隊」は生き残つてきた。

それを検証したいと言つた安倍首相は朝日新聞によつて首相の座から追われた。そして再起した安倍に対し、今またテパーマンが731伝説の補修をやる。

これと対照的なのがナチについての報道だ。こちらは今も調査と検証が続く。

米弁護士エドワード・ヘイガンは90年代、スイスの銀行を相手取つてホロコースト犠牲者の預金類を勝手に懐にしたと訴えた。スイス側は汚名に驚き12億5000万ドルの和解金を払つた。その後、調べたら関係口座すべてを併せても6000万ドル分しかなかつた。

「噂されるほどスイスは阿漕あこぎじゃありません」ときつちり反論した。

ユダヤ人の皮膚とされるランブシェードの調査も行われて、実は「仔牛の皮」(『ヒトラー

の戦争」だったことも分かった。

いつまでも被害者を売り物にして、「強請^{ゆすり}ばかりをするものじゃない」という「ホロコーストビジネス」を批判する声が当のユダヤ人社会の中からも出てきた。歴史は正しく検証しよう。

この違いは何か。中国朝鮮が被害者面して日本にたかるのは国民性だから分かるが、問題は米国だ。

テパーマンに偽りの歴史を書かせ、コロンビア大教授のジェラルド・カーチスも「なぜ反発を招く発言をするのか」(朝日新聞)と歴史の検証を阻む。

ホントの歴史は米国にとってよほど不都合ということか。

(二〇一三年六月十三日号)